

<b>Title</b>	卒業生を中心とする福祉のネットワーク作り：聖学院大学人間福祉スーパービジョン・センター、卒業生を中心とする福祉のネットワーク（SWnet）共催 2009 年度第 1 回ピア・スーパービジョン報告
<b>Author(s)</b>	室井, 美紀
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.19-3 : 21-22
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=2316">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=2316</a>
<b>Rights</b>	

聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

# 卒業生を中心とする福祉のネットワーク作り

## 聖学院大学人間福祉スーパービジョン・センター、 卒業生を中心とする福祉のネットワーク (SWnet) 共催 ～2009年度 第1回 ピア・スーパービジョン報告～

室井 美紀

『ピア・スーパービジョン』は、仲間に会え恩師に会え大学時代に戻ったかのような空間で、懐かしい思いと同時に先生の講演を聞き社会人としての自覚を再認識した。

はじめに柏木先生から『スーパービジョンとはなにか』という主題で講演を頂いた。スーパービジョンの定義として「スーパービジョンはスーパーバイザーとスーパーバイジーの間で、定期的な頻度で一定期間、スーパーバイジーのクライアントへのサービスについて検討する集中的な指導体制」とおっしゃられていた。現場にこのシステム（指導体制）があれば、仕事の進め方が変化するのではないかと思うが、柏木先生がおっしゃられていたように現場ではひたすら服従というのが上司との関係であり、対等でソーシャルワーカーを主体的存在として認めるスーパービジョンの機能が果たされている現場は少ないのが現状だと思う。

先生は大学でのスーパービジョンは、私たちに主体的なソーシャルワーカーになってほしいと願っていること、葛藤を覚えて主体的に働く社会人を育てたい思いがあることを話された。

先生の講演は学生の時には感じる事ができなかった重みを感じた。現場に出て気づいたことの多さにびっくりする。現場にいるからこそ、社会に出ているからこそ、先生の講演に共感と学ぶことのすばらしさを教えて頂けた。

次に田村先生から『スーパーバイザーの立場から』という主題で講演を頂いた。先生の講演から『スーパービジョンの魅力』を感じることができた。実際のスーパービジョンの現場の様子から、スーパーバイジーのその時の気持ち・考え、スーパーバイザーのその時の支援を具体的に教えて頂

けたので、スーパービジョンに対するイメージができた。先生の講演から自分のソーシャルワーカーとしての資質の向上とモチベーションの保持のためにスーパービジョンを受ける必要性を感じた。

『ソーシャルワーカーであり続けるために』『先輩や仲間を作り、語り合いましょ』『いずれは、後輩へのお返しもしたいですよ』この先生の言葉は、私たちSWnet（卒業生を中心とする福祉のネットワーク）の根本ととても通じるものがあると感じた。バイザーから得るもの、ピアから得るもの、それぞれ違いはあるものの自分の振り返りや仕事に燃え尽きないためにもスーパービジョンやピア・スーパービジョンは必要だと思う。

グループディスカッションでは、柏木先生のご配慮からバイジーの先生方は教室を出られた。4グループになりディスカッションをした。（グループは経験年数で分けた）仕事に対する不安や悩みがディスカッションの中心となったようだ。104W～98W、卒業生以外の現場に就いていらっしゃる方々と時間を共有することができた。私が参加したグループでは、『人間関係の悩み』『仕事



経験年数によって分かれたグループで情報や悩みを共有した。

の充実の有無』『職場の人材不足』についてのディスカッションが中心となった。自分一人ではどうしようもない悩みに、自分の体験談を各個人が話すことによって、悩みを話された人は他の現場でも同じようなことがあるのかと悩みを共有する形となって終了した。一人で悩みを抱えるより、仲間に語り合うことで何かを見出すことができたり、安心感を得る場合もあるかもしれない。このディスカッションで何かを見出し、明日への仕事の活力源にできたらすばらしいと思う。

この会を通して、スーパービジョン体制がとれない職場がほとんどであること、自分の気持ちを表出できる場があまりにも少ないことを感じる。大学側で保障してくれている貴重な機会を私たち卒業生は自発的・積極的に活用していけることを念頭におきたいと思う。

私たち卒業生に対し、いつも温かい支援を下さる先生方・関係者の方々に感謝しています。ありがとうございます。

(むろい・みき 上尾中央総合病院 医療相談員・社会福祉士、聖学院大学人間福祉学科卒業)  
(2009年10月10日、聖学院大学4号館4階会議室)

28ページ「ピア・スーパービジョン」実施結果—アンケート集計結果の概要—もご覧ください。

次回のピア・スーパービジョンのお知らせ  
2010年4月17日(土)13:30～16:30  
新都心ビジネス交流プラザ4階会議室C (JR埼京線北与野駅前)

## 人間福祉スーパービジョンセンター 社会福祉の現場で働く人を支援する機関です

### スーパービジョンとは？

スーパーバイザー（熟練のソーシャルワーカー）が経験の浅いソーシャルワーカーに対し、その人の能力を生かし、よりよい実践ができるように支援を行うものです。

### 〈プログラム〉

#### 個別スーパービジョン

個人の要望に応じた支援を行う。

1回1.5h程度、日時は相談による

場所：聖学院大学など

料金：1回6千円（卒業生2千円）

#### グループ・スーパービジョン

固定グループによる年間プログラム10回

毎月第2火曜日18:30～20:30

場所：新都心ビジネス交流プラザ聖学院教室\*

料金：年間3万円（卒業生1万円）

#### スーパーバイザー支援制度

スーパービジョンを行っている人を支援する。

1回1.5h程度、日時は相談による

場所：聖学院大学など

料金：1回8千円（卒業生5千円）

#### ピア・スーパービジョン

2010年4月17日(土)13:30～16:30

場所：新都心ビジネス交流プラザ4階会議室C\*

料金：無料

\*JR埼京線北与野駅西口ロータリー前  
またはJRさいたま新都心駅徒歩10分

連絡先 聖学院大学総合研究所

048-725-5524

research@seigakuin-univ.ac.jp